



～11月16日(土)・17日(日)緑栄祭に来てください～

今年の緑栄祭のテーマは、「Up to You～ココロオドル～」
Up to Youは自分次第、それに期待や喜びでわくわくするというココロオドル(心躍る)を組み合わせました。今日一日を楽しめるか楽しめないかは自分次第であり、自分たちの力で緑栄祭を楽しいものに成功させたいという思いを込めました。



当日は芸人のお笑いライブや模擬店、学生のステージ、お客様が参加して行う企画、毎年恒例の哺乳瓶一気飲みなど、楽しい企画を準備しています。ぜひお越しください。

緑栄祭実行委員長

大学 発達教育学部 発達支援教育学科 2年 大館 悠二



～オーストラリア海外研修～

植草学園大学・短大では毎年、オーストラリアの幼稚園や高齢者福祉施設を訪ね、日本との違いや共通点を見つけ出し、今後に役立てること、さらに、国際的視野をもった保育者や教育者、介護者をめざすことを目的に海外研修を実施しています。今年は9月2日～8日、大学・短大生13名が参加しました。



私は海外に興味があり、外国の幼稚園とはどのようなものなのかを学びたく研修に参加しました。幼稚園では、それぞれのクラスに子どもたちの作品が形を変えて飾りつけられていたことや、毎日のアクティビティーの多さに驚きました。また、さまざまな国の子どもたちがいたため、ランチの時にはそれぞれの国の食文化を見ることができました。日本との違いや共通点を学び、貴重な経験がたくさんでき充実したものでした。

大学 発達教育学部 発達支援教育学科 2年 坂本 彩

1年の時に先輩方の研修風景の映像を見て興味をもち、来年は絶対に行こう！と決めていました。実際に研修に行き、現地の人々の優しさを感じ、特にホストファミリーは私のつたない英語にもしっかりと耳を傾け、たくさん話をしてくれました。本当にあっという間に感じたホームステイの日々であり、ホストファミリーからもらった手紙やプレゼントは私の大切な宝物となりました。



大学 発達教育学部 発達支援教育学科 2年 近藤 結香

～福島県いわき市の障害者施設でボランティア～

8月28日(水)～8月30日(金)、大学・短大生44名と理事長・教員4名が、福島県いわき市の障害者施設「東洋学園」へボランティアに行きました。現在、避難されている利用者の方々は、2011年秋、千葉県立鴨川青年の家に集団避難されていた際にも義援物資や古着等をお届けし、レクリエーションなどを通して交流を深めました。今回も、昨年の相馬市障害者施設におけるボランティア活動に引き続き、施設内の清掃活動やレクリエーション、ダンスの披露などを行いました。その様子は福島民友新聞社8月29日付けの紙面に紹介されました。

一昨年、昨年に続き、今年が3回目の参加となりました。レクリエーションの企画は、先生や仲間と長い時間をかけて立案し、リーダーとして全体をまとめることに努めました。

東洋学園の利用者の方々と私たち学生が楽しい時間を共有し、たくさんの笑顔が溢れた一時を過ごすことができたことをとても嬉しく思います。また、2年前に鴨川でお会いした利用者の方々が私たちを覚えていてくださったことも嬉しかったです。

この活動を、来年・再来年と続けていけるよう、後輩へと繋げていきます。そして、今後も福島県の方々に少しでも多くの笑顔をお届けしていきたいと思えます。

ボランティアサークル「じゅり's」リーダー

大学 発達教育学部 発達支援教育学科 3年 高宮 沙希



施設の方々の笑顔に元気をもらった学生たちは、100枚のチーバ君の折り紙に、感謝の思いをしりました。

ステキな笑顔をありがとう

絆 福島が大好き

また会いにきます

元気をもらいました。3日間ありがとう

たくさんの笑顔が見られて幸せでした

